



# かみのせき 議会だより

2015  
10/23

No.132



## 白熱した戦い

平成 27 年 9 月 定例議会

(上関小・中学校合同運動会 9 月 13 日)

議案	平成 27 年度一般会計・特別会計の補正予算 条例の制定・工事請負契約の変更 教育委員の任命・人権擁護委員の推薦 平成 26 年度決算の認定・監査報告 他	2P～
一般質問	(5 名が町の取り組みを問う)	5～9P
議員研修、編集後記		10P

平成27年

9月定例議会

議案・行政報告

9月定例議会は9月14日から25日までの12日間で開かれ、専決処分1件、平成27年度一般会計および特別会計7件の補正予算、条例の制定2件、工事請負契約の変更1件、字の区域の変更1件、委員の任命1件、並びに推薦1件、26年度決算の認定1件、報告4件が提案され原案のとおり可決・承認されました。

議案説明に先立ち、6月定例議会以降の行政の施行状況等についての報告がありました。

第1は、プレミアム付き商品券発行事業について、6月下旬に2千500セット、総額3千250万円発行し、すぐに完売となりました。町の活性化につながっていくものと思っています。

第2は、夏から秋にかけての諸行事について、第1

点は、7月18日に2年ぶりに開催された「上関水軍まつり」です。第24回目となる今回は「歴史・海・食」をテーマに新たな催しも試みしました。第2点は、7月25日に開催された「第47回山口県離島青年会議」です。10年ぶりの祝島での開催で、県内8つの離島青年57名、行政関係者40名が参加され、「あるもので」とのキーワードをもとに活発な議論が交わられました。

第3点は、日本では44年ぶりの開催となる「第23回世界スカウトジャンボリー」です。7月31日に「地域プログラム」として世界各国から集まったスカウトのうち約80名が訪れ、地域の方が、児童生徒との交流を深めました。

各行事とも多くの町民の皆さんからご支援・ご協力をいただき、心のこもった



山口県離島青年会議（祝島）

「おもてなし」ができ、来町された方がたには、上関町民の温かさに満足されたのではないかと思います。改めて、ご協力を賜りました皆様方に感謝と敬意を表しますとの報告がありました。「おもてなしの心」で町外の多くの皆様と交流を深めることができたと感じています。第4点は、夏の成人式です。恒例行事となつてい夏に総合文化センターで挙行されました。平成27年度に成人を迎えられる12名のうち8名の若者が出席されました。新成人となられた若者たちは決意を新たにされ各々が将来の夢の実現に向かつて、第一歩を踏み出して行ったものと思いと報告がありました。

専決処分の承認

9月6日執行の上関町長選挙が無投票となったため上関町長選挙に係る執行経費の減額と便乗選挙である上関町議会議員補欠選挙に係る施行経費の増額を、9月2日付けで専決により補正をしたものです。

27年度補正予算

一般会計

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1千127万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を33億7千87万9千円とするものです。

主な歳入

地方交付税 6千556万3千円増。  
基金繰入金 8千万円減。

前年度決算繰越金 9千216万4千円増。

主な歳出

財政調整基金積立金 6千200万円増。

社会保障・税番号制度システム改修等委託料 422万円増。

漁港建設費 600万円増。

住宅建設事業費 1千996万円増。



若者定住促進住宅（室津）

## 特別会計

主な歳入

7会計の補正予算で、前年度決算繰越金の増額、一般会計からの繰入金金の増減額を計上したものです。

主な歳出

**国民健康保険事業**  
前年度繰越金349万8千円を増額するものです。

### 介護保険特別会計

介護給付費負担金の精算による償還金665万5千円を増額するものです。

## 条例の制定

- ・上関町手数料徴収条例の一部を改正する条例
  - ・上関町個人情報保護条例の一部を改正する条例
- マイナンバー制度導入に伴う法律が施行されたため制定するものです。

## 教育委員の任命

教育委員である窪田淳一さんが再任されました。

(任期4年)



窪田 淳一 委員

## 諮問

・人権擁護委員の推薦について

吉本まりこさんの任期が平成27年12月31日で満了となるため、山方純さんを推薦しました。(任期3年) 退任されました吉本まりこ委員には永年にわたり、ご尽力を賜り有難うございました。



山方 純 委員

## 平成26年度歳出決算

**一般会計 43億2,399万8,503円** を認定

**特別会計 18億704万7,250円**

## 監査報告

山谷監査委員

一般会計の歳入歳出決算額を前年度と比べますと、歳入額4億340万6千585円の増額・歳出額3億8千213万2千749円の増額となっており、1億2千216万4千107円を翌年度に繰り越しております。

特別会計10会計全体で2千220万1千550円を翌年度に繰り越しております。

税金の滞納徴収と住宅・水道料金徴収については、ここ数年、併任徴収などの方法により、徐々に向上しておりますが、一層の努力をお願いしたい。財政構造については数値をみますと硬直化の状態にあり、運営については無駄など略き財源確保に努め運営には充分に注意していきたい。とは言え住民サービスの悪化するここのない様に重要性・必要性に鑑み優先順位をつけるなどし着実な取り組みをお願い意見と致します。



お年寄りと子どものふれあい活動

## 契約の変更

工事名	変更前		変更後	契約の相手方
	契約年月日	契約金額	契約金額	
平成27年度 祝島漁港機能保全工事	平成27年6月26日	58,421,520円	68,067,000円	(株)東和建设 代表取締役 田中 聡

## 報 告

### ◆上関航運有限公司の事業計画の報告

平成27年10月～28年9月までの事業計画。

(第53期)の純損失は3,303万3千円の見込み。

(第51期)と比較すると収益6・03%、費用1・25%減となります。

収入については、4年に1度の「神舞」の開催による運賃収入を見込んでいます。費用については、船舶の老朽化による修繕費の増加が見込まれます。

◆第4期一般財団法人なごみの経営状況(平成26年4月～27年3月)

温泉施設の来館者は、前年より1万2千746人多い合計12万5千891人となりました。来館者からは前年同様に施設の清潔さと接客対応の良さを評価されています。

道の駅施設では、平成26年12月5日から27年3月31日までの来店者は、想定を大きく上回り月平均2万人の8万1千636人となりました。

共に、町の経済効果として、地元雇用の促進と地元事業者の活性化に寄与しています。また、町民の健康増進・福祉の向上に加え、住民サービスの面でも役立つと考えています。



開店前の出荷風景 (道の駅上関海峡)

### 健全化判断比率

比率名	平成26年度	早期健全化基準
実質赤字比率	- %	15.00%
連結実質赤字比率	- %	20.00%
実質公債費比率	9.9%	25.0 %
将来負担比率	- %	350.0 %

### 資金不足比率

会計名	平成26年度	経営健全化基準
上関町簡易水道事業特別会計	- %	20.0%
上関町農業集落排水事業特別会計	- %	20.0%
上関町漁業集落排水事業特別会計	- %	20.0%
上関町航運事業特別会計	- %	20.0%

平成26年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告

町政のここが聞きたい

# 一般質問

9月定例議会では5名の議員が  
8件の質問をしました。

## これからの町づくりに 質問が集中

### 柏原町政4期目について

**答** まずは財政強化しチャレンジあるのみ

4期目に先立ち、改めて今後の町政運営について問う。また、6月議会に上関町商工会から海を活用した町づくりに関する要望書が提出されている。道の駅や鳩子の湯など、施設整備の効果が現われて、観光客数も15万人と増加している。今後は上関地区においても観光施設の充実を図ることが重要では、上盛山の公園整備、中ノ浦海浜公園整備など、町長の考えを聞く。

町のかじ取りと町民の暮らしを守る責任を負う立場であり、まずは財政の強化だ。また、民間の経済力が強くなれば町税の増収も期待ができ、地域経済が活性化するような支援も必要。儲かる農水産業の復活や、6次産業化へ向けた挑戦など否応なしにチャレンジをやっていかざるを得ない。海を活かした町づくりの提案は、方向性と異にするものではなく大変ありがたい。

#### 質問

#### 町長答弁



嶋尾 忠宏 議員



瀬戸内国際ヨットラリーで寄港（道の駅周辺）

# 町の重要課題への取り組みを問う

**答** 総合計画をベースに実施していく



清水 敏保 議員

## 質問

今回の町長選挙は、無投票により柏原町長が再選された。上関町の現状を考え、原発の賛否での対立を避け、町づくりを優先していかねばならないという、町政に対する町民の意識の表れだと思う。再任された柏原町長に対する期待は大きく、責任も重いと思われる。

今後の町政に対する意気込みと、取り組みの具体策等についてお尋ねする。



児童の演技で盛り上がった敬老会（祝島）

## 町長答弁

人口減少対策及び少子高齢化対策を実施しながら、あわせて自主財源の確保が私に課せられた緊急課題。定住対策の強化、産業の振興と雇用の創出、生活支援ソフト事業の維持拡大に取り組むため、各分野における主要事業を実施していく。上関町独自の特色ある教育、農水産業の6次産業化、花木公園の整備、高齢者が安心して暮らせるサービスの強化等実施していく。

# 若者に魅力ある町にしていくための施策を

**答** 皆さんの意見・アイデアも参考にしたい

## 質問

上関町の人口は減り続け、年齢構成のバランスも崩れ、生産年齢人口が極端に減少していくことが心配される。人口減を克服するには、安心して結婚し、子供を育てられる環境の整備や、若者雇用対策の充実等が、今まで以上に求められる。将来の上関町を担う若者に、魅力のある町にしていくには、各地区のニーズにあった支援策が必要と考えるが。

## 町長答弁

生産年齢人口を増やし、子供の数を増やすことは、今やらないといけない緊急の課題と強く感じている。現在、上関町まち、ひと、しごと創生総合戦略をいろいろな職種、団体、住民が参画して推進協議会で検討している。人口減少対策、雇用の創出、子育て環境の魅力化等がメインテーマで、意見やアイデアを期待している。効果が見込める施策は取り組んでいきたい。



地域に定着された若者定住促進住宅（福浦）

# 4期目の町政運営を問う

**答** 農水産業と観光産業をリンクさせ振興を図りたい



山戸 貞夫 議員

## 質問

今回の町長選で無投票当選後、町職員への訓示で行政、町民、経済界が心を一つにして難局を乗り越えようと呼びかけられたらしいが、唐突に出た感のある経済界とは、何を指すのか説明していただきたい。また、今後の任期4年の町づくりを観光と定住対策を大きな柱にしているが、今後の観光に対する町長のイメージが、具体的に示されたらと願う。

## 町長答弁

経済界とは、あくまでも経済活動をしている地元の人達を指したものだ。観光の捉え方は、雇用の場の確保、そして採算を考えていく必要があると思う。単なる観光PRでなくて観光産業化していく必要がある、農水産物を取り入れて観光産業化していくには、雇用の場づくりにも繋がり、農水産業と観光産業をリンクさせながら振興を図りたいと考える。



定置網で獲れた魚を道の駅に搬入

# 廃屋のからむ台風被害への対処は

**答** 助言や指導・勧告していく

## 質問

近年大型台風の直撃は多いが、町民より台風時の近所の廃屋からの被害に心配の声が上がっている。廃屋の劣化は非常に目立ちながら、問題が表面化してこなかった。しかし、いざとなれば周辺の家屋は廃屋からの飛来物で被害を受ける可能性が高い。廃屋とはいえ個人の私有物なので他人が勝手に手を付けられない。泣き寝入りしかないのだろうか。



不安に思う廃屋（祝島）

## 町長答弁

現在、地方創生先行型事業の一つに、空き家・空き地情報抽出事業により、データベース化の整備を進めている。この事業で得られた空き家などのデータを活用し、自治会などと協議しながら、所有者に対して、空き家などの適正な管理をしていただくよう、助言や指導・勧告をし、空き家など対策計画の作成や協議会組織、空き家などの利活用も含め検討したい。

# 風力発電について

## 答 議会で今一度諮っていただきたい

風力発電事業計画は、議会の全会一致が得られず保留の状態だ。町の財政状況を考えると一刻の猶予も無い状況で、資料のスケジュール案によると、構想発表から運転開始まで4年間かかる」とある。6月議会では、多くの陳情書・要望書が提出されている。町財政の問題、町の高齢化の進行を含めて考えれば、風力発電事業を早急に進めるべきだと考えるが。

### 質問

海下竜一郎 議員



大星山風力発電所（平生町）

町長答弁  
残念ながら議員全員の了解が得られていないので一時保留としているが、6月議会前には、町内各種団体や一住民の方からも陳情書や要望書が議会や町に提出された。この件を保留にしてからいろいろな形で町民の声を受け止め、この声を尊重しなければならぬと思っている。しかるべき時期が来たら、議員全員で今一度この風力発電事業について諮っていただきたい。

# ふるさと納税について

## 答 相乗効果を期待する

ふるさと納税は、地方間の格差や過疎などによる税収の減少に悩む自治体に対し格差是正を推進するため創設された。今年度はお礼の品もボリュームアップされ、寄附金は増額が見込まれ補正されている。この制度を利用して、地域の特産品や産業をアピールし、上関町の魅力をPR活動して、自主財源の確保、産業の活性化、町の活性化につなげて行ければと考えるが。

### 質問

### 町長答弁

納税アップを図るために昨年度より始めた地元特産品の贈呈。今年度から寄附額に応じて返礼品のランク付けをしたことで、昨年度実績の4倍となっている。もっと特産品の充実に力を注ぎ、ふるさと納税制度と地域振興を連動させ、新たな取り組みをし、制度改革による、控除額の拡充、手続きの簡素化などを追い風にしつつ歳入増に繋がる相乗効果を期待する。



ふるさと納税資料

# 上盛山風力発電計画を中止に

## 答 風力発電の目的は財源確保が一番



河村 満生 議員

### 質問

新たな財源確保のため、風力発電2基を検討。売電収入を2億円と見込んでいますが、町民のなかには2億円を収益と誤解する人もいます。この2億円の根拠となる設備利用率が28%と高い。仮りに山陰の風力発電の設備利用率19%で試算すると売電が1億4千600万円。で収益が320万円となる。上盛山の絶景スポットを壊すなどのリスクを背負ってまでやるべき事業でない。



上盛山展望台から見た尾根

### 町長答弁

本町の設備利用率28%は高すぎると指摘されているが、上盛山展望台で観測した実際の風況データをもとに推計している。ご指摘の山陰の風力発電の実際のデータと比較してもこの推計は妥当である数値と判断できる。風力発電の計画は財源の確保が一番の目的で財政の安定を図り、町民の生活を守るサービスを維持していくために、今考えられる唯一の策だと思つ。

## 平成27年10月から、国民の皆さま一人一人に12桁のマイナンバー（個人番号）が通知されます。



愛称：マイナちゃん

- ・市区町村から、住民票の住所に通知カードが送付されます。
- ・通知カードを受け取られた方は、同封された申請書を郵送すること等により、市区町村の窓口で「個人番号カード」の交付を受けることができます。

## 平成28年1月から、マイナンバーは社会保障、税、災害対策の行政手続で利用します。

- ・年金、雇用保険、医療保険の手続、生活保護や福祉の給付、確定申告などの税の手続など、法律で定められた事務に限って、マイナンバーが利用されます。
- ・民間事業者でも、社会保険、源泉徴収事務などで法律で定められた範囲に限り、マイナンバーを取り扱います。

## 法律で定められた目的以外でマイナンバーを利用したり、他人に提供したりすることはできません。



- ・他人のマイナンバーを不正に入手したり、正当な理由なく提供したりすると、処罰されることがあります。
- ・マイナンバーと結びついた個人情報を保護するため、様々な対策を講じます。

マイナンバーは、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤です。

### 行政の効率化

行政機関や地方公共団体などで様々な情報の照合や入力などに要している時間や労力が大幅に削減されるとともに、より正確に行えるようになります。

### 国民の利便性の向上

添付書類の削減など、行政手続が簡素化され、負担が軽減されます。情報提供等記録開示システムによる情報の確認や提供などのサービスを利用できます。

### 公平・公正な社会の実現

所得や他の行政サービスの受給状況を把握しやすくなり、脱税や不正受給などを防止するとともに、本当に困っている方にきめ細かな支援を行えます。

## マイナンバーは一生使うものです。大切にしてください。



マイナンバーのホームページ：<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/index.html> 公式twitter：[https://twitter.com/MyNumber\\_PR](https://twitter.com/MyNumber_PR)  
 マイナンバーのコールセンター：0570-20-0178（マイガ-）

## 柳井地区広域市町議会議員研修会

7月28日柳井市において「柳井市・周防大島町・平生町・上関町」の議員が「二元代表制における地方自治のあり方」を演題として三重県自治研究センター上席研究員高沖秀宜さんをお招きし研修をしました。

議会は「二元代表制」を再認識し、「監視型」から「提言型」議会へ、議会改革の必要性など、改めて議会の重みを感じた研修でした。



## 山口県町議会実務研修会

8月27日、山口市において「滅び行く議会と生き残る議会」を演題として、環太平洋大学 次世代教育学部 国際教育学科 林 紀行准教授に講演いただきました。地方創生時代における地方議会の役割についてや、地方版総合戦略に必要な視点など、今後の議会のあり方について研修しました。



## 熊毛郡議会 広報連絡協議会 定期総会

8月20日、上関町総合文化センターにおいて、「上関町、平生町、田布施町」の広報正副委員長、事務局職員で「26年度事業報告・決算」について協議しました。

また、議会の諸般の状況を住民に周知していただくため、住民に親しまれる議会広報の向上に資する目的で広島県海田町議会に視察研修することを確認しました。



広報を編集している委員

## このたび めでたく 当選されました



右田 千賀子 議員

本年9月1日告示、9月6日に即日開票された町議会議員補欠選挙において、右田千賀子さんが当選しました。  
昨年6月8日に、夫である右田勝さんの突然の訃報には驚きましたが、御主人の意思を継ぎ、上関町のために、要職を務められることを期待しています。

## 編集後記

暑さ寒さも彼岸までとのことわざがございませうが、残暑も少なく、肌寒く感じられる季節となりました。本年9月には、町長選挙、町議会議員補欠選挙が行われ新たな町政体制、町議会体制が整い、上関町の発展のため精進してまいります。

また、人口減少や、少子高齢化は、地方にとって深刻な問題となっております。その問題を克服するため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向け、上関町も取り組んでいます。町が一体となれば、乗り越えられると思っております。

### 委員会

委員長	岩木 和美
副委員長	嶋尾 忠宏
委員	海下竜一郎
〃	河村 満生
〃	清水 敏保

特別委員会  
聴取委員会  
広報委員会

発行責任者／議会議長 西 哲夫

〒742-1402 山口県熊毛郡上関町大字長島 503

TEL 0820-62-0364 FAX 0820-62-0783

編集／議会広報聴取調査特別委員会  
印刷所／中村印刷株式会社